

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和3年2月18日(2021.2.18)

【公開番号】特開2019-122499(P2019-122499A)

【公開日】令和1年7月25日(2019.7.25)

【年通号数】公開・登録公報2019-030

【出願番号】特願2018-3838(P2018-3838)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】令和3年1月7日(2021.1.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

表示装置の表示領域で識別情報を変動表示させる識別情報表示手段を備え、前記識別情報が特定態様で表示されることに基づいて、可変入球口が入球可能状態となる特定遊技を実行する遊技機であって、

前記識別情報を変動表示させるに際しては、前記表示領域の一部の領域を、前記識別情報の少なくとも一部を表示する識別情報表示領域として設定可能である

ことを特徴とする遊技機。

【請求項2】

請求項1に記載の遊技機において、

前記識別情報表示領域に前記識別情報の少なくとも一部が表示された状態で前記識別情報表示領域の切り換えを行うことが可能であり、

該識別情報表示領域の切り換えに伴って前記識別情報の変動表示を進行させる切換変動を実行可能である

ことを特徴とする遊技機。

【請求項3】

請求項2に記載の遊技機において、

前記切換変動では、前記識別情報表示領域の切り換えが行われる都度、前記識別情報表示領域に表示されている前記識別情報を変動させることができある

ことを特徴とする遊技機。

【請求項4】

請求項2に記載の遊技機において、

前記識別情報として、複数の装飾図柄を変動表示可能であり、

前記特定態様は、前記複数の装飾図柄が特定の組み合わせで停止表示する態様であり、

前記切換変動では、

前記識別情報表示領域に前記複数の装飾図柄のうち2以上の装飾図柄を表示可能であり、

前記識別情報表示領域の切り換えが行われる都度、前記2以上の装飾図柄のうち一部の装飾図柄の変動を停止した状態で前記一部の装飾図柄とは別の装飾図柄を変動させることができある

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 5】

請求項 4 に記載の遊技機において、

前記切換変動の結果として、

前記複数の装飾図柄のうち 1 つの装飾図柄を除いた装飾図柄を前記特定の組み合わせとなり得る態様で停止させて、該 1 つの装飾図柄を変動表示させるリーチ演出を実行可能である

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 6】

請求項 2 乃至 請求項 5 の何れか一項に記載の遊技機において、

前記切換変動を行う場合は、該切換変動を行う前に、前記識別情報表示領域の切り換えを複数回行う

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 7】

請求項 2 乃至 請求項 6 の何れか一項に記載の遊技機において、

前記切換変動を行う場合は、該切換変動を行う前に、該切換変動中よりも高い速度で前記識別情報表示領域の切り換えを行う

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 8】

請求項 2 乃至 請求項 7 の何れか一項に記載の遊技機において、

前記切換変動を行う場合は、該切換変動を行う前に、前記識別情報表示領域に前記識別情報が表示されていない状態で前記識別情報表示領域の切り換えを行う

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 9】

請求項 2 乃至 請求項 8 の何れか一項に記載の遊技機において、

前記識別情報の変動表示を行うに際しては、

立体を示す画像を表示可能であり、

前記立体の面のうち、前記表示領域に表示される面の少なくとも一部が前記識別情報表示領域として設定されるものであり、

前記切換変動では、前記立体を回転させることで前記表示領域に表示される前記立体の面を切り換えることによって、前記識別情報表示領域の切り換えが行われる

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 10】

請求項 9 に記載の遊技機において、

前記切換変動では、前記立体を所定の角度だけ回転させる都度、前記識別情報表示領域の切り換えが 1 回行われるものであり、

前記立体を前記所定の角度だけ回転させてから次に前記所定の角度だけ回転させるまでの期間中に、前記所定の角度だけ回転する態様とは異なる態様で前記立体の姿勢を変化させる

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 11】

請求項 9 または 請求項 10 に記載の遊技機において、

前記切換変動では、前記立体を回転させるに際して、該立体が回転する方向に移動する所定の画像が表示される

ことを特徴とする遊技機。

【請求項 12】

表示装置の表示領域で識別情報を変動表示させる識別情報表示手段を備え、前記識別情報が特定態様で表示されることに基づいて、可変入球口が入球可能状態となる特定遊技を実行する遊技機であって、

前記識別情報を変動表示させるに際しては、前記識別情報を表示可能な識別情報表示領

域を複数表示することが可能であり、

表示されている前記識別情報表示領域の数の変化に伴って、前記識別情報の変動表示を進行させることができるものである

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

上述した課題の少なくとも一部を解決するために、本発明の遊技機は次の構成を採用した。すなわち、

表示装置の表示領域で識別情報を変動表示させる識別情報表示手段を備え、前記識別情報が特定態様で表示されることに基づいて、可変入球口が入球可能状態となる特定遊技を実行する遊技機であって、

前記識別情報を変動表示させるに際しては、前記表示領域の一部の領域を、前記識別情報の少なくとも一部を表示する識別情報表示領域として設定可能である

ことを特徴とする。

また、本発明の遊技機は、

前記識別情報表示領域に前記識別情報の少なくとも一部が表示された状態で前記識別情報表示領域の切り換えを行うことが可能であり、

該識別情報表示領域の切り換えに伴って前記識別情報の変動表示を進行させる切換変動を実行可能である

こととしてもよい。

また、本発明の遊技機は、

前記切換変動では、前記識別情報表示領域の切り換えが行われる都度、前記識別情報表示領域に表示されている前記識別情報を変動させることができる

こととしてもよい。

また、本発明の遊技機は、

前記識別情報として、複数の装飾図柄を変動表示可能であり、

前記特定態様は、前記複数の装飾図柄が特定の組み合わせで停止表示する態様であり、前記切換変動では、

前記識別情報表示領域に前記複数の装飾図柄のうち2以上の装飾図柄を表示可能であり、

前記識別情報表示領域の切り換えが行われる都度、前記2以上の装飾図柄のうち一部の装飾図柄の変動を停止した状態で前記一部の装飾図柄とは別の装飾図柄を変動させることが可能である

こととしてもよい。

また、本発明の遊技機は、

前記切換変動の結果として、

前記複数の装飾図柄のうち1つの装飾図柄を除いた装飾図柄を前記特定の組み合わせとなり得る態様で停止させて、該1つの装飾図柄を変動表示させるリーチ演出を実行可能である

こととしてもよい。

また、本発明の遊技機は、

前記切換変動を行う場合は、該切換変動を行う前に、前記識別情報表示領域の切り換えを複数回行う

こととしてもよい。

また、本発明の遊技機は、

前記切換変動を行う場合は、該切換変動を行う前に、該切換変動中よりも高い速度で前

記識別情報表示領域の切り換えを行う

こととしてもよい。

また、本発明の遊技機は、

前記切換変動を行う場合は、該切換変動を行う前に、前記識別情報表示領域に前記識別情報が表示されていない状態で前記識別情報表示領域の切り換えを行う

こととしてもよい。

また、本発明の遊技機は、

前記識別情報の変動表示を行うに際しては、

立体を示す画像を表示可能であり、

前記立体の面のうち、前記表示領域に表示される面の少なくとも一部が前記識別情報表示領域として設定されるものであり、

前記切換変動では、前記立体を回転させることで前記表示領域に表示される前記立体の面を切り換えることによって、前記識別情報表示領域の切り換えが行われることとしてもよい。

また、本発明の遊技機は、

前記切換変動では、前記立体を所定の角度だけ回転させる都度、前記識別情報表示領域の切り換えが1回行われるものであり、

前記立体を前記所定の角度だけ回転させてから次に前記所定の角度だけ回転させるまでの期間中に、前記所定の角度だけ回転する様とは異なる様で前記立体の姿勢を変化させる

こととしてもよい。

また、本発明の遊技機は、

前記切換変動では、前記立体を回転させるに際して、該立体が回転する方向に移動する所定の画像が表示される

こととしてもよい。

また、本発明の遊技機は、

表示装置の表示領域で識別情報を変動表示させる識別情報表示手段を備え、前記識別情報が特定様で表示されることに基づいて、可変入球口が入球可能状態となる特定遊技を実行する遊技機であって、

前記識別情報を変動表示させるに際しては、前記識別情報を表示可能な識別情報表示領域を複数表示することが可能であり、

前記識別情報表示領域の表示数の変化に伴って、前記識別情報の変動表示を進行させることができるものである

こととしてもよい。